(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 12日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒289-0517

住 所 旭市萬力1370番地の1

氏 名 大真工業株式会社

代表取締役 伊藤 良知

電話番号 0479-68-4331

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大真工業株式会社			
事業場の所在地	千葉県旭市萬力1370番地の1(現場:旭市)			
計 画 期 間	令和5年5月1日~令和6年3月31日			
当該事業場において現に行っ	っている事業に関する事項			
① 事業の種類	建設業総合工事業			
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 3億1千			
③ 従 業 員 数	1 3名			
④ 産 業 廃 棄 物 の 一連の処理の工程	中間処理業者へ委託最終処分者へ委託			

(日本工業規格 A列4番)

産業	<b>英廃棄物の処理に係る</b>	る管理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
		丁事	部長	
		各作業所	所責任者	
		_		
産業	<b>検廃棄物の排出の抑制</b>	訓に関する事項		
		【前年度( 令和 4 年度		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
			73 VII VII - 172	
		排 出 量_	t	t
	①現状	(これまでに実施した耶		
		種別ごとに分別化を促進	<u>=</u> 0	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		排 出 量_	t	t
				t
	②計画	(今後実施する予定の取 今後も分別化の徹底を図		
		7 10 0 3 4 4 1 2 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
		<u> </u>		
産業	<b>美廃棄物の分別に関</b> っ		ᆲ	T. 41)
	44.41	(分別している産業廃棄   解体に伴う発生廃棄物は	E物の種類及び分別に関す F種類毎に公別する	る取組)
	①現状	が中でドノ光工 <del>ル来物</del> で	(1里規 中(こ力が) ショ	
		(合谷公別する予定の産	業廃棄物の種類及び分別	と関する取知)
	②計画	今後も分別化の徹底を図		
	<b>→</b> #1 ₩			

自身	っ行う産業廃棄物の再	手生利用に関する事項 「生利用に関する事項	<u></u>	
		【前年度 ( 令和 4 年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	(これまでに実施した取組	E)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		自ら再生利用を行う	t	t
	②計画	産業廃棄物の量		
			,	
白色	行ふ産業廃棄枷の日	┃ □間処理に関する事項		
	711 7 座来廃来初 07 1	【前年度(今和 4年度)		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組	且)	
		7 p 4m 1		
		【目標】	D.1 ( 2 - 2 - 45)	
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
		(今後実施する予定の取組	且)	

自ら行う産業廃棄物の埋	  立処分又は海洋投入処分に		
	【前年度( 令和 4 年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
少先八	(これまでに実施した取組 	)	
	【目標】	1	
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組	)	
女米皮女性の4777のそう	) - HI L 7		
産業廃棄物の処理の委託	に関する事項 【前年度( 令和 4 年度)		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	全処理委託量_	t	t
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
①現状	認定熱回収業者への処理 委託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組引き続き埋立処分又は海洋		
1 1			

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類_	別紙記載	
		全処理委託量_	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	計画 _	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取 建設廃棄物委託契約書に		
<b>※</b> 事務	务処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の	の排出の抑制に関する								
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
①現状	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	排出量	0.03 t	3.65 t	33.6 t	0.616 t	25. 22 t	1.534 t	5.92 t	0. 1075 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	排出量	0.01 t	3 t	30 t	0.5 t	5 t	1 t	2 t	0.1 t
自ら行う産	業廃棄物の再生利用に								
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
①現状	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら行う産	業廃棄物の中間処理に	関する事項				•			
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	【目標】		l l	l					
	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0.03 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業	業廃棄物の埋立処分又に	は海洋投入処分に	こ関する事項						
	【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
(I)現状	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	が ラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
1961	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の	の処理の委託に関する								
	【前年度(令和 4	年度)実績】)	•	18		ı	•		
	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	全処理委託量	0.03 t	3.65 t	33.6 t	0.616 t	25. 22 t	1.534 t	5.92 t	0.1075 t
(C) ## J I	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	0 t	t	0 t	t	t
①現状	再生利用業者への 処理委託量	0.03 t	3.65 t	33.6 t	0.616 t	25. 22 t	1.534 t	5.92 t	0.1075 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	0 t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	0 t	t	t
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃水銀等	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート ・陶磁器くず	繊維くず	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物)
	全処理委託量	0.01 t	3 t	30 t	0.5 t	5 t	1 t	2 t	0.1 t
②計画	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
❷計画	再生利用業者への 処理委託量	0.01 t	3 t	30 t	0.5 t	5 t	1 t	2 t	0.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産	業廃棄物の	が排出の抑制に関する	事項							
		【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
	①現状	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
		排出量	226.09 t	4.7344 t	12.4 t	33. 252 t	1886 t	t	t	t
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
		排出量	150 t	1.5 t	10 t	30 t	1500 t	t	t	t
自	ら行う産業	<b>É廃棄物の再生利用に</b>								
		【前年度(令和 4	年度)実績】)				_			
	①現状	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		【目標】								
	②計画	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
自	う行う産業	英廃棄物の中間処理に	関する事項							
		【前年度(令和 4	年度) 実績】)							
		産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
	①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		【目標】								•
		産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	ルト・コンクリ			
	②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の種類	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t

自ら行う産業	<b>                                      </b>	は海洋投入処分に	関する事項						
		年度) 実績】)							
<b>①</b> 現状	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
0%4	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
	【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	t	t	t
産業廃業物の	D処理の委託に関する 【前年度 ( 令和 4	<del>事</del> 垻 年度)実績 <b>】</b> )							
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
	全処理委託量	226. 09 t	4. 7344 t	12.4 t	33. 252 t	1886 t	t	t	t
0	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
①現状	再生利用業者への 処理委託量	226. 09 t	4.7344 t	12.4 t	33. 252 t	1886 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	0 t	t	t	t	t
	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	汚泥	コンクリートガラ	がれき類	アスファルト ・コンクリートガラ			
	全処理委託量	150 t	1.5 t	10 t	30 t	1500 t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	再生利用業者への 処理委託量	150 t	1.5 t	10 t	30 t	1500 t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t